

第50号議案

「第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会東京大会」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

平成28年7月12日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

別記様式第1号（第6条関係）

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

平成28年6月14日

文京区教育委員会 殿

申請者（申請団体） 第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会東京大会 実行委員会
住所（所在地） 府中市幸町1-22

代表者名 (ふりがな) たにあい しのぶ
谷合しのぶ

代表者連絡先 (事務担当者) 府中市立府中第一中学校
(事務局長) 江東区立第二亀戸中学校 長南 良子

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催 後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会東京大会	
実施期間	平成28年 7月 28日(木) から 平成28年 7月 29日(金) まで (2 日間)	
実施場所	文京シビックホール 大ホール	
事業内容	目的※	全国の公立小・中学校の女性校長の相互交流による研修により、各学校の学校経営をさらに充実発展させて、変化の激しい時代を逞しく生きることのできる児童の育成を目指すとともに、義務教育の充実発展に努める。
	内容	理事会・開会式・総会・記念講演・分科会・閉会式
	対象者	全国の公立小・中学校の女性管理職(参加予定人員 600人)
	参加費	8000円
他団体の共催、後援等(申請中、承認済の別)	文部科学省、東京都、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、東京都公立小学校長会、東京都公立小学校長会 他	
備考		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <u>同意する</u> ・ 同意しない		

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

事業予算書

事業名 第66回全国公立小・中学校女性校長会全国
研究協議大会東京大会

団体名 第66回全国公立小・中学校女性校長会全国
研究協議大会東京大会 実行委員会

収 入	単 位：円	支 出	単 位：円
会費	5,600,000	会場費	4,643,000
本部よりの補助	4,500,000	会場費(シビック)	2,300,000
拠出金(東京都公立小学校女性校長会)	1,100,000	看板・花	666,600
拠出金(東京都公立中学校女性校長会)	200,000	音響・照明	376,400
弘済会	200,000	会場設営費	1,300,000
		報償費	445,000
		講師謝礼	250,000
		カメラマン	195,000
		印刷費	2,500,000
		一次案内	90,000
		二次案内=最終案内	664,000
		大会紀要	383,000
		会報特集号	624,000
		原稿テープ起こし	100,000
		参加者名簿	127,000
		名札フォルダー費用	80,000
		各種封筒	60,000
		手提げ袋	80,000
		大会要項発送	120,000
		運営要綱	50,000
		分科会諸経費	72,000
		予備費	50,000
		消耗品	370,000
		通信・運搬費	510,000
		事務局費	2,738,000
		大会申込み対応等	832,000
		最終確定書面送付費用	114,000
		名札作成費用	224,000
		角2封筒作成費用	91,000
		最終案内印刷費	465,000
		最終案内送付費用	697,000
		近ツリ取扱手数料	315,000
		予備費	394,000
計	11,600,000	計	11,600,000

平成28年5月25日

(備 考)

第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会

東京大会実施計画案

全国公立小・中学校女性校長会 会長 佐々木 直子
第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会
東京大会実行委員会 委員長 谷合 しのぶ

1 目 的

全国公立小・中学校女性校長会は、全国の公立小・中学校の女性校長をもって組織し、全国の女性校長が連携し、義務教育の充実発展に努めることを目的としています。特に女性管理職の育成並びに女性教員の資質の向上や活躍の場の拡大を目指し、たゆみない研究と実績を重ね、真の男女共同参画社会の形成に資することを目指しています。

本大会は、全国の会員が一同に会し、連携を図る貴重な機会であり、また、教育の今日的な課題に基づく実践の相互交流により研修を深め会員各校の学校経営をさらに充実・発展させるものです。

今日、我が国の社会は、かつてない大きな改革の中にあり、学校は未来を拓き心豊かにたくましく生きる日本人を育成し、信頼される学校教育を確立することが求められています。

このような状況を深く認識しつつ、校長の職責の重大さを自覚し、学校経営能力を高め、学校教育の充実を図ることが私たち校長の責務です。

日本の首都である東京において、第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会を開催し、参加者一人一人が知恵を出し合い、学び合い、日本人としての未来を拓き、心豊かにたくましく生きる子供の育成に取り組みます。

- 2 大会主題 未来を拓き 心豊かにたくましく生きる 日本人を育成する学校教育の推進
～日本人としての自覚と誇りをもち 夢や志の実現に向けて
行動する力を育む学校経営～

- 3 主 催 全国公立小・中学校女性校長会、東京都公立小学校女性校長会、
東京都公立中学校女性校長会

- 4 後 援 文部科学省、東京都、文京区、東京都教育委員会、文京区教育委員会、
全国連合小学校長会、全日本中学校長会、東京都公立小学校長会、
東京都中学校長会、東京都公立小学校副校長会、東京都公立中学校副校長会、
東京都公立学校退職女性校長会(東京梅の実会)、日本教育公務員弘済会東京支部

5 開催地 東京都文京区

6 会場 文京シビックセンター 大ホール、 東京ドームホテル

7 大会日程

□ 第1日目 7月28日(木)

10:00	10:15	12:00	13:00	14:00	15:00	16:10	17:45	18:30	20:30
受付	理事会	受付	開会式	総会	講演	記念講演	受付	懇談会	

□ 第2日目 7月29日(金)

9:00	9:30	11:30	11:45	12:05
受付	分科会・分散会	移動	閉会式	

8 講演・講師

(1) 講演 文部科学省

(2) 記念講演 消費者庁長官 板東 久美子 氏

元内閣府男女共同参画局長、

元文部科学省高等教育局長、元文部科学審議官



略 歴

昭和52年4月	文部省入省
平成7年4月	同 生涯学習局婦人教育課長
平成8年7月	文化庁文化部著作権課長
平成10年4月	秋田県副知事
平成12年7月	文部省教育助成局財務課長
平成13年1月	文部科学省初等中等教育局財務課長
平成13年7月	同 高等教育局高等教育企画課長
平成15年1月	同 大臣官房人事課長
平成16年7月	同 大臣官房審議官(大臣官房担当)
平成18年7月	内閣府男女共同参画局長
平成21年7月	文部科学省生涯学習政策局長
平成24年1月	同 高等教育局長
平成25年7月	文部科学審議官
平成26年7月	文部科学省大臣官房付
平成26年8月	消費者庁長官

9 大会趣旨

現代社会はグローバル化の進展により、急激に変化しています。日本においては、産業の空洞化や生産年齢人口の減少、さらには、東日本大震災を契機にして、物質的な豊かさを背景とした社会のあり方や人の生き方について再検討を余儀なくされ、多くの課題が提起されました。今後、日本がこれらの危機的状況を乗り切り、持続可能な社会を実現するためには、教育をより充実させ、人々の多様な個性・能力を開花させ、豊かな人生の実現を通して、社会全体が一層の発展をとげることが求められています。

学校教育においては、国の第2期教育振興計画に示されたように、「社会を生き抜く力の育成を通して未来への飛躍を実現する人材の育成」が重要となります。グローバル化や情報化が進む現在において、個人や社会の多様化を受容しつつ、幅広い識見と教養、柔軟な思考力に基づいた新しい価値観を創造したり、他者と協働したりすることのできる能力を身に付け、さらに、その力を生涯にわたり発揮し、持続し続けることが重要です。

これからの日本を支え、今後さらに発展させる人材を育てるためには、「生きる力」の確実な育成を図るとともに、チャレンジ精神、強い意志、組織を統率するリーダーシップ、国境を越えて人々と協働するための語学力、コミュニケーション能力を身に付け、さらには、異文化を理解すると同時に、日本人としてのアイデンティティを培うことが必要です。

校長は 現在の社会情勢や今後の日本の進むべき方向、さらには、将来像を見据えながら、社会の変化や時代に応じた教育活動の推進に向け、経営感覚をより一層磨き、明確なビジョンを指向した指導性を発揮することが大切です。

本大会は、大会主題「未来を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人を育成する学校教育の推進」を受け、副主題を「日本人としての自覚と誇りをもち 夢や志の実現に向けて行動する力を育む学校経営」として、テーマに即した3分科会を設け、各分散会協議題について提案・議論を通し主題に迫ります。

10 分科会主題および分散会協議題

	分科会主題		分散会協議主題	提案・司会
第1分科会	「生きる力」を育む 学校経営	①	「生きる力」の確実な定着を図る学校経営 ～小・中連携を通して～	徳島県
		②	夢や志の実現に向け、主体的に行動する力を育む学校経営 ～日本人としての自覚と誇りの育成を目指して～	北海道
第2分科会	教職員の資質・能力の 向上を図る学校経営	①	教師としての専門性や指導力の向上を図り、「教師力」を高める学校経営	宮崎県
		②	教職員の参画意識を高め、組織の活性化を図る学校経営 ～男女共同参画社会の実現を目指して～	岡山県
第3分科会	創意と活力ある 学校経営	①	組織マネジメントを生かし、創意と活力を引き出す学校経営	青森県
		②	家庭や地域の教育力を生かし、地域と協働して学校力の向上を図る学校経営 ～地域コミュニティを活用して～	北海道 (中学校)

第66回 全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会東京大会
実行委員会規程(改訂版)

第一章 総則

<名称>

第1条 本会は、第66回全国公立小・中学校女性校長会全国大会東京大会実行委員会と称する。以下、略式で「実行委員会」と呼称する。

<目的>

第2条 本会は、第66回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会東京大会に関わる業務を円滑に遂行することを目的とする。

<業務>

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の4部を置き業務を行う。4部以外の業務は、実行委員会本部役員会がこれにあたる。

1 総務部

(1) 総務係

全国小・中学校女性校長会事務局と連携して、以下の仕事を進行する。

- ① 全体会場、分科会・分散会の会場選定と契約
- ② 来賓と役員の名簿作成
- ③ 後援、祝辞・挨拶の依頼
- ④ 開会式の企画・運営
- ⑤ 文部省講演の企画・運営
- ⑥ 記念講演の企画・運営、
- ⑦ 閉会式の企画・運営
指揮者、伴奏者への依頼、ピアノや譜面の用意
- ⑧ 報道機関との対応

(2) 庶務係

- ① 大会1次案内の作成と発送
- ② 会場案内図、座席札、標示物、看板の準備と設置
- ③ 実行委員会の腕章・記章の準備
- ④ 大会アンケート文の作成と集約
- ⑤ 祝電・祝辞の保管
- ⑥ 来賓・会員用記念品の選定と準備
- ⑦ 記録の整理と保管
- ⑧ 礼状の作成と発送

(3) 受付・案内・接待係

- ① 開会式・閉会式受付
- ② 受付配布物の計画と事前の袋詰め
- ③ 大会役員・助言者・来賓・講師の案内・接待
- ④ 救急対応 呼び出しの処理

(4) 会計係

- ① 総務部関係の会計全般

2 運営部

(1) 運営係

① 懇談会の計画・交渉

- ア 会場設営計画・調整、旅行業者との折衝
- イ アトラクションの企画・運営
- ウ 立看板、会場案内図、座席札、案内図など表示物作成・掲示
- エ 写真撮影計画

② 次回開催県（アトラクション）との連絡

(2) 受付・案内・接待係

- ア 名簿の確認、受付業務
- イ しおりの作成
- ウ 来賓・アトラクション出演者の案内と接待
- エ 警備計画、救急対応、呼び出しの対応

(3) 会計係

- ア 運営部の会計全般

3 研究部

(1) 研究係

- ア 大会主題、分科会・分散会協議主題設定
- イ 大会宣言文の作成

(2) 分科会係

- ア 分科会・分散会の企画と運営
- イ 発表者、司会者、記録者の依頼と集約
- ウ 分科会・分散会の参加者調整（名簿作成を旅行業者に依頼）
- エ 分科会・分散会 会場設営、表示、使用機器の準備

(3) 編集係

- ア 研究紀要編集及び発送
- イ 大会特集号編集及び発送

(4) 分科会受付・会場係

(5) 会計係

- ・研究部の会計全般

4 会計部

(1) 会計係

- ① 大会予算策定
- ② 経理事務一切の執行
- ③ 決算書の作成、

5 事務局

- (1) 大会全般の企画
- (2) 組織分担の提案、各部業務の把握と調整
- (3) 全体の進行表の作成
- (4) 大会運営要綱作成

(5) 旅行業者との折衝

- ① 懇親会の場所の選定と契約
- ② 大会2次案内の作成と発送
- ③ 来賓役員の宿泊計画
- ④ 全国会員・参会者の名簿作成
- ⑤ おみやげ屋と宅配便の手配

(6) 本部役員会、運営委員会、実行委員会、運営委員会の開催通知

(7) 名簿作成、緊急連絡網作成

第二章 会 員

第4条 本会は東京都公立小学校女性校長会・東京都公立中学校女性校長会をもって組織する。

第三章 役 員

<役員構成>

第5条 本会に次の役員をおく。

1. 大会副会長（都会長）	1名	2. 実行委員長	1名
3. 副実行委員長	2名	4. 事務局長	1名
5. 事務局次長	1名	6. 部長	4名
7. 副部長	5名	8. 係長	9名
9. 監査	2名		

<役員条件>

第6条 役員は、平成28年度まで在職する校長をあてる。

(ただし、事情のある時はこれに限らない)

第7条 実行委員長は、平成26年度の中学校都女性校長会の副会長がこれにあたる。

第8条 副実行委員長は、平成26年度の小学校都女性校長会の副会長及び開催地区幹事がこれにあたる。

第9条 事務局長は、平成26年度の書記より選出する。

第10条 事務局次長は、中学校都女性校長会より選出する。

第四章 役員の仕事

<役員の仕事>

第11条 役員の仕事は次の通りとする。

- 1 東京都公立小学校女性校長会会長は、全国公立小・中学校女性校長会副会長として、全国理事会や事務局及び関係機関との連絡・連携を密にし、大会要綱の作成、来賓の把握、記念講演・文科省・講評の講師依頼等、実行委員長と共に大会を統括する。
- 2 実行委員長は、大会副会長（都小学校女性校長会会長）・事務局との連携を密にし、大会の準備並びに実施に関する一切の業務を運営推進する。また、運営委員会等の招集を行う。
- 3 実行副委員長は、実行委員長を補佐し、委員長が事故あった時は仕事を代行する。
- 4 事務局長は、委員長を補佐し、部の連絡調整等円滑な推進にあたる。
- 5 部長は、所管部門の業務の企画・運営を統括する。部会の招集、事務局との連携を図り業務を遂行する。

- 6 副部長は、部長を補佐する。
- 7 監査は、本会運営に関する経費の収支を監査する。

第五章 会議

<組織>

第12条 本会の運営を円滑にするため、次の会議を組織する。

- 1 実行委員会
- 2 本部役員会
- 3 運営委員会
- 4 部会

<構成・任務>

第13条 構成・任務は次の通りとする。

1. 実行委員会は、東京都公立小学校女性校長会・東京都公立中学校女性校長会をもって組織し、各業務の審議・承認をする。実行委員会は、大会副会長・正副実行委員長・事務局長・事務局次長、中学校会長、正副部長・各係長をもって組織し、必要に応じて開催する。

(内容)

- ① 業務計画並びに業務報告に関すること。
 - ② 既定の承認・改廃に関すること。
 - ③ 予算並びに決算に関すること。
 - ④ 役員の承認に関すること。
 - ⑤ その他、本会の目的達成に必要なこと。
2. 組織の最高決議機関は、運営委員会とする。
 3. 本部役員会は、都会長・実行委員長・副実行委員長・事務局長・事務局次長で組織し、実行委員会の企画・調整を行う
 4. 運営委員会は、大会副会長・正副実行委員長・事務局長・正副部長、中学校会長で組織し、必要に応じて開催する。決議事項は実行委員会に報告する。
 5. 部会は、正副部長・係長の所属する会員をもって組織し、業務を分担する。必要に応じて部長が招集する。また、必要に応じて業務推進の係会も開催される。

第六章 会計

第14条 本会の経費は、本部からの大会運営費・参加費・助成金等の収入をもってこれにあてる。

第15条 本会の会計は、平成28年度に終了する。

第16条 本会の会計報告は、大会終了年度の実行委員会で報告、承認を受ける。

第七章 付則

第17条 東京都公立小・中学校に所属する女性副校長に、東京大会の趣旨の理解を得て、協力を依頼する。

第18条 この規程は、平成26年10月21日から施行し、解散実行委員会をもって終了する。

第66回 全国小・中学校女性校長会全国研究協議会東京大会 実行委員会名簿 160423版
 くメンバー：事務局・正副部長・各係長 30名

(注) ①毎回、石上に作成の日時を記載してしましたのをご確認ください。
 ②削除、追加、係名変更は、事務局次長(長南)にご連絡ください。
 ③セキキュリアイヤーが高い区への通信にはご留意ください。(例) 墨田区→練馬区、葛飾区、葛飾区→墨田区×

墨田区→練馬区、葛飾区、葛飾区→墨田区×

役職	氏名	勤務先	電話
1 都小会長	濱野 裕美	昭島市立武蔵野小学校	042-543-8666
2 都中会長	松丸 晴美	練馬区立石神井西中学校	03-3920-1034
3 実行委員長	谷合 しのぶ	府中市立府中第一中学校	042-361-9301
4 副委員長	長田 眞理子	渋谷区立千駄谷小学校	03-3401-1707
5 副委員長	馬場 千鶴子	文京区立大塚小学校	03-3946-3423
6 事務局次長	長南 良子	江東区立第二亀戸中学校	03-3683-0033
7 事務局員	中村 奈緒美	墨田区立第三寺島小学校	03-3612-5600
8 事務局員	宇賀神 礼子	町田市立木曾境川小学校	042-791-2086
9 事務局員	辻 きよみ	江東区立第四砂町小学校	03-3646-4950
10 事務局員	長谷川 淳子	江東区立東砂小学校	03-3648-5819
11 部長	堀越 和子	江戸川区立松江小学校	03-3652-7146
12 副部長	池田 清恵	大田区立石川台中学校	03-3726-7148
13 会計係長	甲斐 裕子	大田区立池上第二小学校	03-3753-9361
14 部長	谷田 弘子	練馬区立田柄第二小学校	3938-8827
15 副部長	沼田 操	杉並区立高井戸東小学校	3304-5711
16 総務係長	須藤 田鶴子	練馬区立練馬小学校	3990-4246
17 受付・接待係長	星 美登里	練馬区立南田中小学校	3997-1147
18 会計係長	千葉 千恵	北区立桐ヶ丘中学校	5963-3811
19 部長	伊井 裕美	葛飾区立西小菅小学校	03-3602-6388
20 副部長	服部 みどり	新宿区立戸塚第三小学校	03-3227-2101
21 副部長	堀江 朋子	八王子市立檜原中学校	042-626-1205
22 運営係長	淺野 千鶴子	葛飾区立中青戸小学校	03-3602-6606
23 受付係長	福島 貴美江	日野市立日野滝合小学校	042-583-5172
24 接待係長	浅見 僚子	東久留米市立小山小学校	042-474-1691
25 会計係長	酒井原 美保	国分寺市立第三小学校	042-322-0043
26 部長	石村 康代	日野市立日野第一中学校	042-581-0009
27 副部長	増田 裕子	板橋区立板橋第五中学校	03-3964-3822
28 研究係長	高岡 麻美	府中市立府中第九中学校	042-367-0320
29 分科会係長	佐藤 郁子	新宿区立柏木小学校	03-3227-2104
30 編集係長	小林 理恵子	渋谷区立富谷小学校	03-3467-7854